

一般質問通告書

次のとおり、質問したいので通告します。

令和 8年 7月 6日

山北町議会議長 瀬戸 恵津子 殿

受付番号	第1号	質問議員	1番	和田 成功	
件名	災害レジリエンスの高いまちづくりを				
要 旨					
近年、気候変動に伴う豪雨災害の激甚化や南海トラフ地震、首都直下地震などの大規模災害の発生が懸念される中、自治体には、災害を未然に防ぐ「防災」の視点に加え、災害発生時に被害を最小限に抑え、迅速に復旧・復興できる「災害レジリエンス」の向上が求められている。 当町は、中山間地域という地理的特性から、土砂災害や河川災害、道路寸断による孤立集落の発生が懸念されるほか、人口減少や高齢化の進行により地域防災力の維持も大きな課題となっている。 そこで、災害対応力と地域の回復力を一層高め、安全・安心で持続可能なまちづくりを推進するため、以下の質問をする。 1. 防災アプリ、防災GIS、IP無線、ドローン、AIなどデジタル技術を活用した情報収集・情報共有・避難支援の現状と今後の取組みは。 2. 自主防災組織、防災士、消防団、自治会など地域防災の担い手を育成・支援するための具体的な施策は。 3. 大規模災害時に他自治体、自衛隊、民間事業者、災害ボランティアなどの支援を円滑に受け入れるための受援計画の現状と課題は。 4. 道路、橋梁、上下水道など重要インフラの老朽化対策と耐災害性向上をどのように進めていくのか。					
以上					